

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度第1回相模原市市民協働推進審議会				
事務局 (担当課)		市民協働推進課 電話042-769-9225(直通)				
開催日時		令和2年9月10日(木) 午後6時10分~午後7時30分				
開催場所		相模原市役所 本館2階 第1特別会議室				
出席者	委員	14人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	8人(市民局次長、市民協働推進課長、他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 委員紹介 2 会長及び副会長の選任 3 諮問(協働事業提案制度の審査について) 4 議題 (1) 部会委員の選出について (2) 協働事業提案制度の今年度の状況について (3) 市民協働推進基本計画の進行管理について 5 その他				

委員委嘱式に続いて、第1回会議が開催された。

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 委員紹介

日頃の活動や協働に対する考え方等について自己紹介を行った。

2 会長及び副会長の選任

審議会規則第3条第2項の規定により、委員の互選による会長及び副会長の選任が行われた。その結果、会長に牛山委員、副会長に坂本委員が選任された。

3 諮問(協働事業提案制度の審査について)

4 議題

(1) 部会委員の選出について

審議会規則第7条に基づき、協働事業提案制度事業審査作業部会の委員構成について提案を行い、承認された。

【主な意見等】

特になし

(2) 協働事業提案制度の今年度の状況について

事務局より資料に基づき説明を行った。主な意見等は以下のとおり。

【主な意見等】

今年度の行政提案は0件だが、市民と共に事業を取り組むことで効率的に事業を行うこともできると考えられる。提案が無い原因としてどのようなものがあると考えているか。

今年度については、テーマを出したいという相談は複数課からあったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応によりテーマの詳細を詰めることができなかつたため、次年度に向けた検討を続けることとなった。

行政提案が活発に出てくるような議論を行政側でもしてほしい。

「食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり」について、食材は無料で調達する想定か。また、無料だとすれば170万円の事業費には、どのような経費が含まれているのか。

食材は無料で調達する想定である。経費としては、配送にかかる交通費、謝礼、食材を保管する倉庫の賃借料等が含まれているが、今後の協議によって変更が生

じる可能性がある。

子どもに対する支援として、子どもを助ける、援助するということも大事だが、今の子どもに必要なのは社会性ではないか。自立する子どもを育てるために、学習支援等と同時に社会性を養うことが重要であると考える。

「住んでみたいまち相模原をめざす移住・定住促進事業」について、藤野観光協会のHPは綺麗に作られておりよく見ているが、コロナ禍において地方への移住が注目される中で空き家を宣伝し、都心より安い金額で広い物件を手にすることができることを周知することは重要な取組と考える。

「スマートヘルスを利用した高齢者世帯の血圧管理実証実験事業」について、高齢者の見守りや健康管理を行う上では民生委員などに繋げていくことが大事ではないか。家庭に機器を配り、血圧を測るということではなく、民生委員を活用するなど、他のところに資源を投入するべきではないかと考える。

血圧を測るなど自分でやろうと思えばできることである。市民の自主的な活動を増やしていくことが必要ではないか。

団体からの提案の内容は幅が広く、一つ、二つの課に収めようとするとう活動の幅が狭まるため、行政側も課を越えて連携してほしい。

提案内容から抜け落ちた分野への対応はどのように調整しているのか。

協議をしていく中で、担当課は増減が生じるものであり、抜け落ちの無いように協議を進めている。

今回出た意見を踏まえ、市民活動団体を育てるような協議をしてほしい。

(3) 市民協働推進基本計画の進行管理について

事務局より資料に基づき説明を行い、進行管理シートの公表手続を進めることとなった。

【主な意見等】

市民活動や地域活動の参加者で若い世代が少ないということであるが、市民活動等に学生が参加していることを大学側で評価できるような仕組みができないか。

また、学生は参加する際に交通費が欲しいという話を聞いている。

大学においてもアクティブラーニングやサービラーニングといった取組を進めている。単位に通じる評価をすることは大学側でもできるが、交通費を大学側から出すことは現状難しいため、自転車移動できる範囲にする、助成金を確保するなど、大学教員も苦慮しており、課題と思っている。

交通費については、自治会等、活動に参加してもらう側が負担するべきであり、大学側に負担を求めるものではないと考えている。

南区で高校生向けに行ったアンケートで、ボランティアには参加したいが授業の一環にしてほしいという結果が出た。私自身、学習支援の活動を行っており、高

校生ボランティアに交通費を出しているが、財源の確保が大変なため、助成金情報をまとめたものの公開も必要と考える。若い人たちもやる気はあると思っているため、参加しやすい環境づくりが必要である。

協働事業で実施している事業の例で、学生が自分の将来に役立つと思えば遠方からも参加してくれると聞いている。参加する学生側にメリットがあれば、交通費を支給しなくても参加してもらえるのではないか。

第2次市民協働推進基本計画の成果指標で、目標値が基準値より下がっているところがあるが、何か意図があるのか。

成果指標によっては、基準値とした年度が例年と比べて突出して多かったものもあるため、数年間の平均から設定している指標もある。

第2次市民協働推進基本計画の進行管理については、次回審議会で具体の案を出していただき、議論をしたい。

5 その他

特になし。

6 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

以 上

相模原市市民協働推進審議会 委員名簿

(令和2年9月10日開催)

	氏名	現職	備考	出欠
1	牛山 久仁彦	明治大学 政治経済学部 教授	会長	出席
2	中村 律子	法政大学 現代福祉学部 教授		出席
3	妻鹿 ふみ子	東海大学 健康学部 教授		出席
4	山岸 絵美理	大月市立大月短期大学 准教授		出席
5	数野 博久	公募委員		出席
6	前田 誠一	公募委員		出席
7	青木 庸江	相模原商工会議所 女性会会長		出席
8	石川 壽々子	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事		出席
9	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会 会長		出席
10	桐戸 初生	相模原市公民館連絡協議会 副会長		欠席
11	坂本 堯則	相模原市自治会連合会 会長	副会長	出席
12	西本 敬	特定非営利活動法人 さがみはら市民会議 代表理事		出席
13	畠山 昇	特定非営利活動法人 市民フォーラムさがみはら 代表理事		出席
14	八木 さやか	公益社団法人 相模原青年会議所		出席
15	米山 敦子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 副代表理事		出席